

第2回 市長と話そう会 (武雄スケートボード愛好会)

日時 平成29年2月2日 (木)

18:30~20:00

場所 川良公民館

参加者 愛好会会員9名



市民の皆さまと市長が直接語り合う『市長と話そう会』第2回目は、武雄スケートボード愛好会の皆さんとの意見交換でした。

内容を抜粋して掲載しています。

《掲載にあたり、一部個人のプライバシーに関する部分などについては省略しています》

市長談話

実は白岩運動公園を通る度にスケートボード場が気になっていた。知り合いからも「武雄のスケボ場はよく整備されている」と聞いたことがある。

昨夏には会員が自主的に運営するフェスを開催するなど、将来的に可能性があるスポーツだと個人的には感じている。

今日はスケートボードを通して今後何がやれるのかを教えてください。

愛好会の紹介

会員は現在武雄市内外合わせて約30名。主に30代がメインで学生もいる。

以前は山内町の道の駅や文化会館でやっていたが、白岩でできるようになり本当に感謝している。スケートパークは県内では伊万里市、近県では長崎市や古賀市がよく整備されているが、県内の施設では武雄が一番。

スケートボードにはストリートとバーチャルランプの2種類があり、白岩では安価な設備でできるストリートをやっている。白岩ではBMXもできる。セクションは全て手作りで、皆でお金を出し合って整備している。

会員の中には転勤族もいて、転勤先々でスケートボードを通じて仲間ができたという話も聞いており、スケートボードはコミュニケーションのツールのひとつと考えている。

意見交換

(市長) 白岩のスケートボード場の使い勝手はどうか。

(会員) 悪いところでは、奥まっているところにあり照明も十分ではなく、ビギナーが近寄りやすい雰囲気。地面の勾配が初心者には少しきつい。時折赤水が出ることがあり、その箇所は劣化が激しい。近くにトイレがほしい。どこに出掛けてもトイレは大事なので、駐車場内であれば。

良いところでは、良くも悪くも周りに何もないため、騒音を気にせずプレイできる。無料の広い駐車場が隣接しており、イベントが開催しやすい環境。今時街中に無料の駐車場はどこに行っても見当たらない。市役所の職員駐車場の解放も画期的。白岩運動公園内にあることから、スケートボードもスポーツのひとつとして認知されやすい。図書館やダイレックスが近いので、買い出しや休憩場所には困らない良い立地。

(市長) 昨夏のフェスは都合で行けなかったが、中々の盛り上がりだったと聞いている。

(会員) 大体300人から400人ぐらい集まった。開催が決まってから周知期間が一月もなく、SNSやチラシでしか宣伝できなかった割にはよく集まった。今フェスは赤字だったが、定期的にフリーマーケットやチャリティイベントを開催し、得た収益はセクションの補修代に充てていきたい。

- (市長)今の場所に自分たちで一から作ったということで会員が愛着を持って利用しているのが良く分かる。どこかに新しく整備し直すというより、今の場所をもっと充実させたいという気持ちは大事にしたい。
- (会員)さらに言えば、ギャラリーが観戦できる席がほしい。家族連れで来てみんな居場所がある環境があればもっと盛り上がる。夜の照明をもっと充実させれば地域の犯罪抑止力としても活用できる。近くにバスケットコートやボルダリングが楽しめる場所を作り、複合的施設として整備すれば利用客も増える。今のセクションは木造で半年に一度は何らかの補修が必要であり、お金はかかるがもっと頑丈な作りであれば。正直、会員の手出しには限界がある。
- 今の場所は元々駐車場であったところを、駐車場として使わない時に限りスケートボード場として利用している形だが、セクションは1人2人で動かせるものではなく常時置きっぱなしの状態であり、もし会員以外の誰かがそこで怪我をした時などは協会が責任を取る形になるのかなとも思う。整備されているセクションであれば怪我は自己責任というのが通常だが、ここは非公式な場所なので責任の所在が曖昧だというのは問題かな。
- (市長)ここは、一般的にスケートボード場として認知されていると思われるが、正式な取り扱いについては市内内部で検討させてもらいたい。
- (会員)スケートボードをやりたい潜在的人口は多いと思う。ただ、その入口が分からないだけ。白岩のセクションが中級向けだからという理由もあるけど。代表も3年に1回は怪我で入院しているし、遊びに怪我は付き物。
- (市長)初心者は何があれば始められるの。
- (会員)ヘルメットとボードさえあれば始められる。安いものであれば15,000円くらいで買える。
- (市長)1回きりの補助金ではあるが、「がんばる地域応援事業」というのがあり、20万円を上限としてハード面の整備であれば8割の補助が出る。こういった制度を利用して裾野を広げていってみたい。
- (会員)市としてはスケートボードをどういう風に考えているのか。
- (市長)今度子ども図書館ができ、その中でカルチャー講座を定期的で開催する予定。その講座のひとつにスケートボード教室を組み込んでもいい。また、保養村のキャンプとのコラボ、同日にフェスをぶつけるなど、今度競輪場公園もできるので、その辺一帯で一日中楽しめるような企画にするとか。何かイベントをやる時は市に聞いてもらえれば、市のイベント情報の共有もできるし、その告知とかの情報発信については市も協力できる。スケートボード以外でも何かあれば。
- (会員)平成24年にはゲットファンクフェスを開催したが、場所を武雄川沿いの白岩運動公園を利用させてもらった。武雄川と言えば川沿いが少しさびしい感じがする。立地的に可能性があると感じるのでもっと商業施設を建てて盛り上げられないか。会員の中にはカフェを出してもいいという者もいる。
- あと、簡単に利用できるジムが武雄にはない。1回500円くらいのところがあれば。
- (市長)白岩体育館の建替えの話があがっており、その中でジムも検討したい。
- 最後になるが、今度スケートボード場に行って、実際どういう風にプレイしているのかを見学したい。
- (会員)楽しみにしています。